

「仕事とライフイベントの両立セミナー～企業の取組と今後の課題について考える～」開催報告（令和元年度 第2回仕事と介護の両立ワークショップ）

【日時】令和2年2月18日（火）18：00～19：30

【場所】長崎大学文教キャンパス 教養教育 A-13 教室

【内容】・Nぴか取得企業3社による取組紹介

石田弘司氏（医療法人保善会 田上病院 事務長）

古川仁史氏（豊福設計株式会社 総務部長）

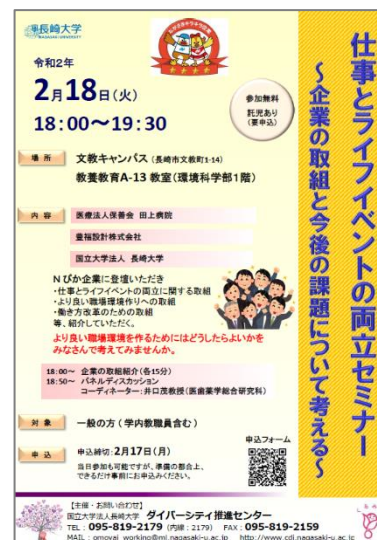
草村俊昭氏（長崎大学 総務部人事課 主査）

・ディスカッション

パネリスト：Nぴか取得企業上記3社

コーディネーター：井口茂教授（医歯薬学総合研究科）

【参加者】17名



1. 挨拶（医歯薬学総合研究科 井口茂教授）

最初に井口茂教授より挨拶がありました。本学は仕事と介護の両立に関する取組を5年前より実施しており、その一環で本日の会を企画した。介護と仕事を切り離して考えるのではなく、離職を避けることを前提として取組を進めてきた。仕事を辞めることで精神面や経済面での負担が増え、本人の生活の質に影響してくるだけでなく、会社としても優秀な社員を失うことになる。今回、Nぴか取得企業に実際の現場の話をしていただくことで、取組をさらに一歩前に進めるためにはどうしたらよいか、参加のみなさんと一緒に考えていきたい。また、大学で実施する意味として、学びや成果を地域に還元していきたいと述べられました。

2. Nぴか取得企業3社による取組紹介 草村俊昭氏（長崎大学 総務部人事課）

本学の育児や介護に関する諸制度を紹介し、法律以上の手厚い制度となっていることを説明されました。介護の制度については、名称を介護「休業」ではなく介護「休暇」（長期6か月まで）とすることで、休んでいる間も住宅手当が支給されるようにしていること、介護や育児等のライフイベントのある教員に関してのみ、今年度4月から在宅勤務制度を導入したことを説明されました。常勤非常勤を合わせた職員数が約4500名の中、介護に関する制度利用率が低いこと、また、男性の育児休業や子の看護のための特別休暇取得者が少ないことをあげ、さらに周知徹底に力を入れていきたいと述べられました。



石田弘司氏（医療法人保善会 田上病院）

病院の理念である「暖心ーすべての人に届けよう、私たちの暖かさ、優しさを。全ての人の笑顔のためにー」について、患者さんに向けての発信ではあるが、関わる職員さん、家族も含めたすべて

の方へ向けたものであり、患者さん職員さんすべてを大切にすることということを表していると説明されました。また、経営者の思いが現場職員に届くように、職員の要望が経営者に届くように、普段からのコミュニケーションと気付き・気配りに注力されており、事務長さん自ら手作りの本格的なお菓子を準備し交流の場を作っていることを紹介されました。管理職入室禁止の交流の場は、多職種の方が交流し、また、普段の愚痴や相談を自由に口にできること、事務長さんが対応することで、コミュニケーションをとることや信頼関係につながることで、現場の生の声を直接聴くことできる等いろいろな効果をもたらしていると述べられました。



古川仁史氏（豊福設計株式会社 総務部長）

アルバイトの方を含め 70 名程（本社の佐世保に 30 名、福岡・諫早の営業所で合わせて 40 名）の会社である。社員の 8 割は現場で測量設計等しているが、総務 2 人で労務・経理・庶務等事務の全てをしているため、すべての社員の入社から退社までに係るため、社員を全て把握しているつもりである。小さな会社で小さな総務だからこそ、社員の 1 人ひとりに目を配ることができる。また、現場はチームを組んで動いているためチームワークはとれている。今は残業時間を減らすことに注力していると述べられました。

3. ディスカッション(コーディネーター:医歯薬学総合研究科 井口茂教授)

参加者からの質問も含めた次の①～⑧について登壇の 3 企業でディスカッションし、今後の参考にするとともに、課題や思いを共有しました。①在宅勤務制度の内容、利用状況②若手社員の意見を聞く場③現場で働く方の意見を聞く場④育児や介護に関する制度の利用状況⑤制度利用におけるそれぞれの業種での課題⑥登壇企業の特徴(制度面)⑦制度利用側と管理側のそれぞれの立場⑧制度を使う側の権利と管理経営側の立場のすり合わせについて



4. アンケート

「N ぴか企業の 3 社はそれぞれ取組が素晴らしく、働きたいと思える企業でした」「質疑応答の時間が十分にあり、他社の制度について聞くことができて参考になった」「業種の違う 3 つの会社、組織の取組を聞かせていただき、自分の知らない情報を得ることができた」「制度の運用にまつわる現場の実践的な声やジレンマが聞けてよかった。(小さな組織のそれらのこと含めて)」「今日のようなセミナーは、広く広報して、できれば休日に広い会場で実施していただきたいです」「一歩前進しようという気持ちが伝わってきました。やってみてだめなら改善していけば良いと思います。勇気もらったセミナーでした」「参加者が少なく残念ですが、とても有意義な会でした」など、気づきや学び、感想をいただきました。アンケートへご協力いただきましたみなさま、ありがとうございました。